

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	廃材を有効活用した農産物加工特産化プロジェクト
事業主体 (連絡先)	上平を元気にする会 (宮下 忠朝 電話：0268-82-4896)
事業区分	(1)⑥イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,469,260円 (うち支援金 995,000円)

事業内容

夏場の環境下における「ねずみ大根」やその加工商品の品質劣化を維持するために保冷蔵設備を整備し、年間を通じて安定した供給と品質の維持を実現させた。

また、地元スーパー等の店頭における地元農産物加工品のPR活動や、食育推進としての献立レシピ開発や地元小学生を対象とした栽培体験の実施を行った。



【地元小学生の栽培体験】

【目標・ねらい】

- ①遊休荒廃地・耕作放棄地の解消
- ②地域ブランドの推進
- ③食育の推進
- ④地産地消の推進

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・生産面積拡大による地元地区内の遊休荒廃地の解消  
約 300 m<sup>2</sup>
- ・地元食材・加工品を使った新レシピ数 3メニュー

※自己評価 【A】

【理由】

農産物や加工品の冷蔵設備を整備したことによる販売品としての品質の向上等が実現できた。

また、今回の事業を通じて、地元の子どもたちの食育や地産地消学習につながられた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

年間を通じて安定した商品供給と品質を維持しながら、さらに地元農産物の消費拡大につなげていき、地域ブランドの推進を図っていく。

また、消費者に対するPR活動と小学生を対象とした栽培体験を継続していき、食育や地産地消の意識向上をさらに高めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある